

26日機輸通投第197号
平成26年10月28日

組 合 員 各 位

日 本 機 械 輸 出 組 合
専務理事 倉持 治彦

中国経済セミナー
「習－李体制の評価～“ポスト経済時代の中国”の理解」
開催のご案内 <組合員限定>

拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「中国の夢」の実現を掲げて国家運営にあたる習近平政権が発足後2年を経て、経済成長が減速局面にある中で、内政は経済市場化や腐敗撲滅に熱心である一方、外交は隣国との摩擦を抱えながらも、新興国と連携して新たな世界秩序を求める動きも見せています。果たして習近平－李克強政権の経済政策の核心は何か、そうした政策は当面の安定と将来の発展にとって有効か、その成否を展望するとともに、かつてない手法で行われている「政治改革」は何を帰結するのか、経済政策と政治社会改革を俯瞰総合して展望を得る必要があります。

中国経済及び経済政策の専門家、New Asian Invesco Ltd.の森一道氏を講師に迎えて、下記のとおりセミナーを開催致します。森氏は、当組合の提供情報「月例 中国経済現地報告」の執筆者で、毎月の中国分析記事は組合員の皆様からも評価を得ています。

組合員各位におかれては、ぜひこの機会をご利用いただき、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

日 時：平成26年11月20日（木） 14：00～16：00

場 所：機械振興会館6階 会議室6D-1～6D-2（定員80名）
東京都港区芝公園3-5-8 Tel：03-3434-8216

テーマ：「習－李体制の評価～“ポスト経済時代の中国”の理解」

- ①習－李体制が考える現在の3つの大きな問題（「社会」の台頭の観点から）
- ②経済運営の2つの課題（雇用確保と物価安定）
- ③総合戦略としての「新型城鎮化」政策

講 師：New Asian Invesco Ltd. 董事総経理 森 一道氏
（当組合HPのメンバーズメニュー「月例 中国経済現地報告」執筆者）

概要： 2012年11月の第18回党大会で、習近平氏が胡錦濤氏の後を継いで国、党、軍のトップに立ってから2年がたつ。翌2013年3月に李克強氏が首相に就任し、習－李体制が成立したが、この約2年を振り返ると、同体制をめぐっては評価が二分するといえる。

一方では、経済高成長がもはや期待できないので、対内的には政治的に高圧的であり、対外的には国家主義的で拡張主義的である。他方では、社会の安定を確保できる持続可能な経済成長を目指すべく、既得権益層と闘いつつ、自由主義に基づく経済体制の構築に向けて懸命に働いている。

いずれにせよ、はっきりしているのは、一定の経済的發展を実現し、またグローバル化の進展で人々の価値観が劇的に多様化することで、人民が発言を始めた、つまり「社会」が生成してきたことのリアクションとして、習－李体制の様々な政策が打ち出されているということであろう。言い換えれば、台頭する「社会」を単純な「経済」（所得増）ではない手段でどう国家の安定につなげてゆくかに関して試行錯誤しているのが習－李体制であると理解すべきである。

習－李体制をこのような歴史的な脈で位置づけたうえで、今回のセミナーでは主に、①習－李体制が考える現在の3つの大きな問題（「社会」の台頭の観点から）、②経済運営の2つの課題（雇用確保と物価安定）、③総合戦略としての「新型城镇化」政策の3点について話をしたい。国内販売に一段と注力する日本企業にとって、「社会」が立ち現われ国にももの申すようになったいわば「ポスト経済時代の中国」の現状を理解することはきわめて重要と思われる。

参加費：無料（組合員限定）

申込方法：セミナー参加ご希望の方は、11月18日（火）までに当組合ホームページ

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#china> からお申し込み下さい。

なお、申込者多数の場合は、申込締切日前に締め切らせていただく場合がございます。

会場へのアクセス：機械振興会館 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

キャンセル方法：11月18日（火）までに下記事務局までご連絡ください。

以上

お問い合わせ先：日本機械輸出組合 通商・投資グループ 谷口、齋藤、庫元

Tel 03-3431-9348、Fax 03-3436-6455、<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>